



くまのじんじゃ ちょうずや
熊野神社の手水舎

～令和6年度選定～ Googleマップ

山形市大字津金沢



〔管理者・保全団体〕津金沢自治会

ポイント

神社境内には手水舎が設けられており、その手水に利用されている湧水である。この神社は「オクマンサマ」と呼ばれ周辺集落の鎮守として崇敬されており、境内には樹齢1000年の大杉がそびえ立つ。地区の重要なシンボルとなっているこの大杉は、山形県の天然記念物に指定されており見事な景観を形成している。

津金沢地区からは蔵王山系が一望でき、四季の景色を楽しむことができる。石鳥居をくぐり境内までの参道には、アジサイが植栽され6～7月頃には参拝者の目を楽しませる。



熊野神社の参道



津金沢の大杉

アクセス (北緯38.202443°、東経140.290051°)

JR蔵王駅から西へ約1km進むと津金沢地区に入る。地区内の「県指定天然記念物・津金沢の大杉」の看板に従って進む、狭い進入路を通ると熊野神社の駐車場に到着する。正面の石鳥居をくぐり、石段の参道を100mほど上ると境内右手に本堂があり、その手前に手水舎がある。

